

社会歯科学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	笹井 啓史 (保健医療政策学)

学習目標 (G I O)	歯科医療の実践と、その実践の場である歯科医療機関の管理運営に必要な法制度、社会保障制度、医療保険制度などにおける社会的・経済学的知識、コミュニケーション技能、情報管理技能などを体系的に理解し、法律や諸制度を踏まえた歯科医療の実践において齟齬をきたさないために必要となる知識の修得を行う。
担当教員	笹井 啓史、齊藤 孝親、※大久保 一郎
教科書	スタンダード社会歯科第5版 石井拓男 他編 学建書院
評価方法 (E V)	平常試験によって評価する。講義を1/5以上欠席した場合の評価点は0-60点とする。なお、平常試験の再試験は行なわない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	医療は社会保障制度において重要な役割を担い、社会のセイフティーネットとして機能している。この医療に従事する歯科医師は、歯科医療そのものに関する知識や技術の習得はもちろんのこと、各種医事法規を熟知し遵守する義務を有している。また、近年の社会状況は医療事故や医療安全についての医療機関の姿勢を厳しく捉える傾向にあります。加えて、将来的に歯科診療所を開設管理するためには、事業経営 (財務・人事) も理解しなくてはならず、歯科医師が多くの社会的知識と社会性を身につけなければならないことを認識してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/09/29 (火) 4時限 14:40~16:10	社会保障制度概論	<p>【授業の一般目標】 諸外国の状況を踏まえ、わが国の社会保障制度と社会状況について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 社会保障の定義について説明できる 2. 社会保障の体系について説明できる 3. 保健、医療、福祉 (介護保険含む) の各制度について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 人口構造、社会保障制度 (保健、医療、福祉 (介護保険含む))、社会保障給付費</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ア 社会保障制度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 オ 社会生活 b 社会保障制度 (所得、介護、障害) 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。</p>	笹井 啓史
2015/10/06 (火) 4時限 14:40~16:10	医療関連法規 (歯科医師法)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師法等、歯科医師の法的義務について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師の法的身分と業務について説明できる 2. 歯科医師の法的義務と権利について説明できる 3. 患者の人権と医の倫理について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 歯科医師法、民法、刑法、その他関連法規</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/06 (火) 4時限 14:40～16:10	医療関連法規 (歯科医師法)	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓い c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守 イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン b 患者の権利と義務 c 自己決定権 4 歯科医療の質と安全の確保 エ 医療裁判 a 医事紛争、賠償 b 医療訴訟 (刑事裁判、民事裁判) 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) b 診療録の管理・保存 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 A 基本事項 A-2 医の倫理 *②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等)を概説できる。 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *②個人的、社会的背景等異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 *④患者に最も適した医療を説明できる。 *⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	笹井 啓史
2015/10/13 (火) 4時限 14:40～16:10	医療関連法規 (医師法、医療法等関連法規)	<p>【授業の一般目標】 医師法、医療法等医療関連法規について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医行為 (業) と歯科医行為 (業) について説明できる 2. 医療法の規定に基づく医療機関の開設と管理について説明できる 3. その他医療関連法規について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医師法、歯科医師法、医療法、その他関連法規</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 イ 医療機関</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *②医療法を概説できる。 *④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。</p>	笹井 啓史
2015/10/20 (火) 4時限 14:40～16:10	医療関連法規 (歯科衛生士法、歯科技工士法等医療関	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士法、歯科技工士法等医療関連職種の各身分に関する関係法規について説明できる</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	連職種の資格法)	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. コデンタルスタッフ (歯科衛生士/歯科技工士) の法的規定について説明できる 2. コメディカルスタッフ (薬剤師/看護師/言語聴覚士 等) の法的規定について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 歯科衛生士法、歯科技工士法、薬剤師法、保健師助産師看護師法、言語聴覚士法、その他医療関連職種に関する身分法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 g 地域歯科保健活動での各職種の連携に関する制度 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間 b 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士間 c 多職種連携 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 オ 医療関係職種 キ 医療連携、チーム医療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。 *④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。</p>	笹井 啓史
2015/10/27 (火) 4時限 14:40~16:10	医療提供体制	<p>【授業の一般目標】 医療提供体制について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療計画、5疾病5事業について説明できる 2. 地域医療連携について説明できる 3. 医療圏について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医療計画、医療圏、5疾病5事業、地域医療連携</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 b 診診連携 e 地域連携クリニカルパス 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 キ 医療連携、チーム医療 4 地域保健、地域医療 イ 医療計画、健康増進計画</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/10/27 (火) 4時限 14:40～16:10	医療提供体制	できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 *⑪災害時の歯科医療の必要性について説明できる。	笹井 啓史
2015/11/10 (火) 4時限 14:40～16:10	保健衛生関係法規	<p>【授業の一般目標】 保健衛生関係の各法規について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 地域保健法について説明できる 2. 健康増進法について説明できる 3. 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる 4. その他の保健衛生関連法規について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律、その他の保健衛生関連法規</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健 a 地域保健法、地域保健体制 b 健康増進法 c 歯科口腔保健の推進に関する法律 ウ 母子保健 a 歯科健康診査 (妊産婦、1歳6か月児、3歳児) カ 成人・高齢者保健 b 健康増進事業、歯周疾患検診 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 イ 保健衛生法規 エ 予防衛生法規薬事衛生法規 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 ケ 母子歯科保健教育 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理 4 産業保健、産業歯科保健 イ 労働安全衛生管理</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	笹井 啓史
2015/11/17 (火) 4時限 14:40～16:10	医療安全対策・院内感染対策	<p>【授業の一般目標】 医療安全対策・感染対策について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療における安全管理 について説明できる 2. 医療事故と安全対策の重要性について説明できる 3. 医療事故と医療過誤について説明できる 4. インシデントとアクシデントについて説明できる 5. 感染対策について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医療安全対策、院内感染対策、リスク管理手法</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 b 医療事故の発生要因</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/11/17 (火) 4時限 14:40~16:10	医療安全対策・院内感染対策	<p>c 患者の安全管理 (誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護)</p> <p>d 医療者の安全管理 (感染、針刺し事故、外傷、被曝、目の保護)</p> <p>e 医療危機管理 <リスクマネジメント></p> <p>g 医療安全対策 (医薬品・医療機器の安全管理)</p> <p>ウ 院内感染対策</p> <p>a スタンダードプレコーション<標準予防策></p> <p>c 医療廃棄物処理</p> <p>エ 医療裁判</p> <p>b 医療訴訟 (刑事裁判、民事裁判)</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 健康管理・増進と予防</p> <p>1 1 感染症対策</p> <p>ウ 院内感染対策</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理</p> <p>A-5-1) 安全性の確保</p> <p>*①歯科医療における事故の特異性を説明できる。</p> <p>*③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。</p> <p>*④医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。</p> <p>*⑥医療機関における医療安全管理体制の在り方(事故報告書、インシデントレポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等)を概説できる。</p> <p>⑦医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。</p> <p>A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防</p> <p>*①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。</p> <p>*②医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む)の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。</p> <p>*③医療上の事故等(インシデント(ヒヤリハット)、医療過誤等を含む)が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。</p> <p>*⑤基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルブルーフの考え方など)について概説できる。</p> <p>A-5-3) 医療従事者の健康と安全</p> <p>*④針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。</p>	笹井 啓史
2015/11/24 (火) 4時限 14:40~16:10	薬事制度	<p>【授業の一般目標】</p> <p>薬事制度(医療機器・医薬品)について説明できる</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 医療機器と医薬品の承認制度について説明できる</p> <p>2. 臨床試験と治験について説明できる</p> <p>3. 医薬品と医療機器による健康被害について説明できる</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>薬事法、医療機器、医薬品</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>2 社会と歯科医療</p> <p>ウ 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>d 薬事法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>4 歯科医療の質と安全の確保</p> <p>オ 医薬品・医療機器による健康被害</p> <p>a 副作用・有害事象への対応 (報告義務、治療、補償)</p> <p>カ 血液・血液製剤の安全性</p> <p>a 保管、管理</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅰ 保健医療論</p> <p>2 保健・医療・福祉・介護関係法規</p> <p>エ 薬事衛生法規</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-5 生体と薬物</p> <p>C-5-1) 薬物と医薬品</p> <p>*①医薬品の分類を説明できる。</p> <p>*②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。</p> <p>*③日本薬局方を説明できる。</p> <p>C-5-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>*①薬物の一般的な副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p> <p>D 歯科生体材料と歯科材料・器械</p> <p>D-1 素材と器械・器具の所要性質</p> <p>*③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。</p> <p>*④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。</p>	笹井 啓史
2015/12/01 (火) 4時限 14:40~16:10	保健医療と国家財政	<p>【授業の一般目標】</p> <p>保健医療と国家財政の仕組みについて説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 国家財政と国民医療費の実態を理解し説明できる。</p> <p>2. 医療における費用効果分析について説明できる。</p> <p>3. 医療経済の仕組みについて説明できる。</p>	大久保 一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/12/01 (火) 4時限 14:40～16:10	保健医療と国家財政	<p>【準備学習項目】 国民医療費、医療経済</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ウ 医療経済と国民医療費</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造 b 国民医療費 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ア 社会保障制度 イ 医療保険、介護保険 ウ 医療経済と国民医療費</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】</p>	大久保 一郎
2015/12/08 (火) 4時限 14:40～16:10	医療保険制度	<p>【授業の一般目標】 医療保険制度の仕組みについて説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 医療保険の概要と仕組みについて説明できる。 2. 保険医・保険医療機関の義務について説明できる。 3. 医療経済と歯科医療について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 保険者、医療保険制度</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】</p>	笹井 啓史
2015/12/15 (火) 4時限 14:40～16:10	医療保険制度	<p>【授業の一般目標】 医療保険制度における歯科診療について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科診療報酬制度の概要と仕組みについて説明できる。 2. 保険診療における適切な診療録記載方法について説明できる。 3. 診療報酬請求の仕組みについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 診療報酬</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/12/15 (火) 4時限 14:40～16:10	医療保険制度	<p>5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型） b 診療録の管理・保存 歯科医学総論 総論1 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】</p>	笹井 啓史
2015/12/22 (火) 4時限 14:40～16:10	介護保険	<p>【授業の一般目標】 介護保険制度について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 介護保険制度の概要と仕組みについて説明できる。 2. 介護保険における歯科の役割について説明できる。 3. 介護認定について説明できる。 4. 介護サービスについて説明できる。 5. 介護予防について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 介護保険、介護認定、介護給付、介護予防、口腔関連サービス、介護保険施設</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 d 福祉、介護保険</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防（地域支援事業、予防給付） d 福祉、介護保険 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク c 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 歯科医学総論 総論1 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ウ 福祉施設 エ 介護施設 カ 福祉・介護の制度と職種 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。</p>	笹井 啓史
2016/01/12 (火) 4時限 14:40～16:10	歯科医療の実践	<p>【授業の一般目標】 医療法をはじめ歯科医療の実践に必要な法制度について説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医療と医業について説明できる 2. 医療行為の正当性について説明できる 3. 標榜診療科名について説明できる 4. 医療広告について説明できる 5. 歯科医療機関の開設及び管理について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 医療法、歯科医師法</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度</p>	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/01/12 (火) 4時限 14:40～16:10	歯科医業の実践	<p>e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法 b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法 d 薬事法 16 チーム歯科医療 ア 医療機関でのチームワーク a 歯科医師・医師間 b 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士間 c 多職種連携 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ア 医事衛生法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 イ 医療機関</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 *②医療法を概説できる。 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-3) 医療従事者の健康と安全 *①医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 *⑤医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。</p>	笹井 啓史
2016/01/19 (火) 4時限 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【授業の一般目標】 医療情報管理と医療情報システムについて説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 電子カルテについて説明できる。 2. 医療情報システムについて説明できる。 3. 医療情報の標準化について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 電子カルテ、医療情報、情報システム、標準化</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 b 診療録の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型） b 診療録の管理・保存 c SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画） イ 診療情報 a 個人情報の保護 b 診療情報の開示</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ⑥診療録に得られた情報をPOMR（問題志向型診療記録）形式で記載できる。 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-3) 保健医療情報 *①保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティを説明できる。【診療情報（診療録等）を含む。】</p>	齊藤 孝親
2016/01/26 (火) 4時限 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【授業の一般目標】 医療情報管理と個人情報保護について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人情報保護について説明できる。 2. 医療情報の保護（セキュリティ）について説明できる。 3. 診療情報の開示について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 個人情報保護法、情報セキュリティ、診療情報等の提供</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	齊藤 孝親

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/01/26 (火) 4時限 14:40～16:10	医療情報管理	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 イ 診療情報 a 個人情報の保護</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 イ 診療情報 a 個人情報の保護 b 診療情報の開示</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-3) 保健医療情報 *①保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。【診療情報（診療録等）を含む。】 *②医療情報の開示に関する注意点を説明できる。</p>	齊藤 孝親
2016/02/02 (火) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	笹井 啓史 齊藤 孝親